○年度の終わり、同時に新しく始めるための備えをする季節ですね。
子どもたちはこの一年の歩みを、それぞれの姿で精一杯駆け抜けたように思います。
これらの育ちゆく命そのものの子どもたちの活力に圧倒され、感動させられています。

子どもたちの笑い声、悔しそうな涙、満足げな安らぎ、競争心を燃やし集中している真剣な顔、ところが怒り顔はほとんど見ませんね。子どもたちは今生きるのに、今楽しむのに、嬉々とした時間を惜しんでいるかのようです。
今ではどんぐり組の2才児も幼いなりに、上のお兄さんお姉さんをまねて庭のあちこちを走り回り、ボールをけり、ピチピチと元気で可愛いものです。
この子どもたちは丸山小羊幼稚園で共に育ちあった仲間、互いに過ごした時間、数多くの嬉しい、楽しい経験は目に見えるように明確な形で現れることはなくても、彼らの心深く蓄えた貴い心の財産なのです。(ちょっとオーバーかな)

○カリキュラムの中に「のびのびあそびの経験」、とくに戸外での体育的な体全体を動かすあそび、加えて「ルールあるあそび」などの時間を、今年は昨年より多く取り入れました。心なしか子どもたちの落ち着き、身のこなし、元気さなど、成長の度合いの質の変化が見られるように思います。

○「遊べない子」が、「遊びの楽しさを知らない子」が増えています、など子どもたち周辺事情が話題になってすでに久しいですが、改善される気配はありません。

○次年度も当園は「機能的な体全体を用いるあそび」を中心にした保育方針を継続します。なお「あそび」によって免疫力を養ったり、健全な身体、人間力、生きる力を身につけるくことも望んでいます。

○子どもの時代だけでなく、私どもの人生はいつの時も少しの緊張感と共に常に前向き、明日に向かう期待と不安を抱えつつ、夢を見、飛び出していくのです。

○年長組さんとのお別れは少し寂しいですが、私どもは大きな笑顔で送り出します。
ゆり組の子どもたちの明日への成長を期待し、神様の見守りと祝福を切にお祈りいたします。

「どんな時でも、どんな時でも　苦しみに負けず、くじけてはならない
イエス様の　イエス様の　愛を信じて
どんな時でも　どんな時でも　幸せを望み　くじけてはならない
イエス様の　イエス様の　愛があるから」　子どもさんびか129

保護者の皆様のこれまでのご親切と温かいお支えを深く感謝しています。卒園されましても、遠くから近くから小羊幼稚園を応援していただけますと幸いです。